

令和7年度事業実施報告

1. 共創推進強化事業（共通）

取組	内容
① 地域共創タウンミーティング	地域住民の方から直接、地域が抱える課題等を伺い、産学官の様々な観点から意見交換を行い、大学・地域共創プラットフォーム香川の運営及び取組みに活かすことを目的に2回実施 綾川町は、旧綾上町地域での「未永く住み続けられる、持続可能な地域」について意見交換(9/30) 観音寺市は、市における「中小企業の人材確保」について意見交換(2/9)
② プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業	産学官共創チャレンジ支援補助金によるプラットフォームの枠組みを活用し、構成員が企画・提案、実証・実践する若者の県内定着や地域課題に資する取組みを支援 【交付決定件数】15件(詳細は資料3-1,3-2 のとおり)
③ 産学官金連携による新たな人材確保支援	令和6年度の「県内企業の多様な人材確保のための提言」を踏まえ、産学官金連携により、新たな中核人材確保モデルである「かがわ“企業価値・人材価値共創”プロジェクト」を構築 ・プロジェクト会議 全5回 ・特別セミナー(11/22)参加者30名 ・キックオフシンポジウム(2/13)参加者45名 ・産学官金連携コンソーシアム協定締結(3/30)

2. 高大連携・進学推進事業（進学・教育部会）

取組	内容
① 出前講座・体験講座等への講師派遣	・出前講座実施件数:80件(1/30現在) 県内大学等で実施する出前講座の情報を集約し、県内高校へ周知 ・香川わくわく子ども大学開設講座数:16講座 【参加者】小学生173名、中学生9名(親子153組) 各県内大学等がそれぞれの特色を生かして、県内小学生を対象とする講座を開設 ・探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣 三本松高校(7/4) 派遣講師(県内大学等9校から20名)

② 県内大学等合同進学説明会	4校(琴平高校、香川中央高校、小豆島中央高校、高松東高校)で実施。延べ1,068名の高校生に対し、県内大学の魅力等を発信。琴平高校では保護者も参加。琴平高校、高松東高校では専門学校も参加 また、県内高校・大学を卒業し、県内企業へ就職したOB/OGが参加し、ロールモデルとして県内大学等の魅力をPR
③ 教員対象県内大学等合同進学説明会	高松東高校で生徒対象の合同進学説明会と同時開催(9/24) 教員約20名が参加
④ 高大連携キャリアデザイン研修	香川県高等学校PTA連合会との連携により、保護者を対象とする「第3回県内大学・短大合同進学説明会」を開催(11/22、会場:香川短期大学) 【参加者】 県内高校保護者・生徒・教員 100名 機関紙「高P連だより」に県内大学等の紹介記事を掲載(10月、2月)
⑤ かがわキャンパスガイドの効果的な活用	掲載情報を更新。 キャンパスガイド訪問者数増加及び夏休み期間中のオープンキャンパスへの誘導を目的に、県内中高生にチラシ約1万8千枚配布(7月)
⑥ 外国人留学生対象の合同進学説明会開催	1校で実施 ・穴吹ビジネスカレッジ日本語学校(7/25) 参加者 16名

3. 大学等連携強化事業 (進学・教育部会)

取組	内容
① 大学間の単位互換	開設科目数 626 受講者数 24人
② 大学等教員のFD・SD研修の実施	・「地域の中でこれからの大学が求められる役割 ～社会環境の変化や知の総和答申を踏まえて～」(11/20、PF香川主催) 【参加者】25名 ・危機管理シンポジウム「レジリエントな地域を創る防災教育 ～人口減少と巨大災害に負けないため、防災教育について一緒に考えてみませんか！～」(10/28、香川大学主催、PF香川共催) 【参加者】172名(会場82名、オンライン90名) ・数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム(3/5) 【参加者】会場:45名 オンライン:39名 ・大学等教職員の共同FD・SD研修会「第4期認証評価の観点、IRの取組」(9/29、3短期大学、オンライン)【参加者】12名

	・大学等教職員の共同SD研修会「ゲームで考える職員間のギャップ ～働き方や考え方を尊重する講座～」(9/29)【参加者】19名
③ 国際交流会(学生)	県内大学等の留学生・日本人学生を対象とする交流会を開催(10/25) 【参加者】県内大学等留学生18名(韓国、タイ、台湾、中国、ベトナム、ミャンマー、メキシコ)、日本人学生7名
④ リスクマネジメント活動	危機管理シンポジウム(10/28、香川大学主催、PF香川共催) 【参加者】172名(会場82名、オンライン90名)
⑤ 地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	講師(リクルート進学総研所長 小林浩氏)を招聘し、県内大学等の担当者向けの講演を実施、意見交換(11/20)
⑥ 数理・データサイエンス・AI教育事業	数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックワークショップ(12/9)【参加者】58名(会場28名、オンライン30名)

4. キャリア支援事業（就職・産業振興部会）

取組	内容
① 「かがわーくフェア」の強化・充実	大学等の新卒者・既卒者及び中途採用希望の就職促進や県内企業の人材確保を支援することを目的として、「就職面接会」や「企業説明会」等を実施する「かがわーくフェア」を開催 【参加者】 令和7年4月19日(土) 対面127名、企業100社 令和7年9月27日(土) 対面135名、企業100社 令和8年3月9日(月) 対面132名、企業152社
② 業種別オンライン県内企業見学ツアー	大学等学生の県内企業に対する理解を増進させ、県内企業への就職及び県内定着を図ることを目的として、県内企業によるWeb会議を用いた企業説明会を開催 【日時・参加者】(全てオンライン参加者) 8月21日(木) 10:30～ 42名 8月21日(木) 13:30～ 43名 8月22日(金) 10:30～ 36名 計121名(香川大学72名、四国学院大学12名、徳島文理大学11名、高松大学7名、香川短期大学7名、香川高専4名、県外学生8名)、県内企業19社

<p>③ うどん県の自治体で働く大懇談会</p>	<p>県内大学等の学生を対象とする地元自治体への就職を考える懇談会を開催し、地元自治体や地域で働くことの動機付けとなることを目的として、学生と県内自治体の担当者やOB・OG職員が一同に集まる大懇談会を開催</p> <p>【日時・参加者】</p> <p>9月30日(火) 10:00～ 27名</p> <p>9月30日(火) 13:30～ 27名</p> <p>対面54名(香川大学52名、四国学院大学2名)、県内自治体等16団体</p>
<p>④ 外国人留学生等と県内企業の交流会・合同企業説明会</p>	<p>外国人留学生等と県内企業との交流会・合同企業説明会を開催し、留学生等の県内企業への就職を支援するとともに、県内企業の人材確保の支援を行う(10/15)</p> <p>【参加者】</p> <p>外国人留学生64名、参加企業13社</p>

5. 地域企業魅力発信強化事業（就職・産業振興部会）

取組名	内容
<p>① 学生による企業インタビューシップの実施</p>	<p>高校生・大学生等が県内中小企業の事業内容や魅力を理解することで、香川県に残る(戻る)きっかけとすることを目的として、県内企業経営者や従業員に、企業理念や仕事のやりがいなどのインタビューを行い、「働くこと」についての意味を考える取組み</p> <p>【高校生】</p> <p>5校(三木高校、高松商業高校、飯山高校、志度高校、観音寺総合高校) 260名</p> <p>【大学生】</p> <p>高松大学 14名 今年度は、地元の経営者を大学に招き、地元企業の魅力や自社の概要などについての講話や、学生との質疑応答を実施。</p>
<p>② 高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信</p>	<p>高校生、大学生等に県内産業及び県内産業に関わる企業や団体の魅力発信を行い、県内定着に繋げることを目的として、高校・大学祭等のイベントにおいてブースを出展(①農畜水産物の魅力発信に関するもの②中小企業の魅力発信に関するもの)</p> <p>①大学生88名(四国学院大学・徳島文理大学)、一般(高校生含む)354名</p> <p>②高校生118名(飯山高校118名)、一般(大学生を含む)113名</p> <p style="text-align: right;">計673名</p>

<p>③ 地元中小企業魅力発見ツアー</p>	<p>普段接する機会が少ない優れた技術を持つ県内中小企業等の製造現場を見学し、熱い想いを持った若手経営者や社員の考え方等に触れてもらうことで、県内企業の仕事を身近に感じてもらい、県内企業で働くことを考えるきっかけとなることを目的として、県内高校生及び県内大学生等を対象とする企業見学ツアーを開催</p> <p>【参加者】 高校生16名、保護者4名(令和8年3月23日実施) 大学生6名(香川大学6名・令和7年9月29日実施)</p>
<p>④ 学生と県内企業による、「人材定着」をテーマとする課題解決型授業</p>	<p>企業5社の協力のもと、PBL型の授業として香川大学経済学部において集中講義「(特)働き方デザイン演習」を開講 (実施日:2025年9月16日~19日・24日の5日間、参加学生:10名(経済学部7名、法学部3名))</p>

6. 地域活性化実践事業 (地域活性化部会)

取組名	内容
<p>① 学生等による観光等地域資源の情報発信</p>	<p>若者目線での地域の魅力PRと学生らの地域理解促進を図ることによる人材の育成・定着、地域づくりの促進を目的として、学生らが、自らの視点で観光等地域資源の体験取材を行い、自治体のSNSから情報を発信。(今年度はまんのう町取材)</p> <p>① 11/26 「おしゃピク」 リール及びフィード ② 11/27 「ファミリーツアー」 リール及びフィード いずれの投稿も1万ビューを記録。「おしゃピク」のリール動画は、県観光協会インスタグラムで今年度投稿された記事の中で3番目に高い「いいね」数を記録</p> <p>町の広報誌やHP等に関して、若者目線でのアドバイスを提供</p>
<p>② 産学官関係者の連携強化に向けた交流促進</p>	<p>地域で活躍する産学官の関係者や学生らがつながり、相互理解を深め、連携事業創出のための基盤づくりを進めることを目的とし3月17日に「地域課題を産学官で考える」をテーマとした産学官連携交流会～なんがでっきょんな香川～を開催。</p> <p>参加者:県内企業、大学等、自治体から63名</p>
<p>③ 学生との連携を図る活動情報の集約・発信</p>	<p>より多くの学生が地域と関わることにより、地域づくり・地域連携の促進を図ることを目的として、自治体等が学生との連携・参画を図って実施する活動やイベント・行事等の情報を集約し学生に発信</p> <p>募集8件、参加学生:延べ89名</p>
<p>④ 若者のUJIターン促進のための意識調査</p>	<p>人材の県内定着及びUJIターン促進に向け、県外在住の若者等(県出身の大学生・社会人等)を対象に、移住を検討するきっかけやUターン就職に対する考え方等をインタビューで調査し、各構成員に共有するとともに、その対策の方向性を提案</p>

<p>⑤ 県内を舞台にしたフィールドワークの促進</p>	<p>人材の県内定着・関係人口創出に向け、大学や企業等が実施する地域課題解決のためのフィールドワークの実証的な取り組みを実施(高松市塩江地区)。県内各地域での受入態勢の整備に向けて、塩江地区での取り組み内容を構成員に共有。</p>
<p>⑥ まちづくりに活かせるファシリテーションスキルアップ講座</p>	<p>市民活動の知識を得て、地域の多様な人材とまちづくりを進めていくことを目的に、県内大学の知見を活かし、主に自治体職員向けのファシリテーションスキル向上の講座を実施。 参加者:各回25名程度(自治体職員、大学教職員、企業経営者)</p>